２０２１年3月２５日
公益社団法人全国公民館連合会
明治安田生命保険相互会社

全国の公民館で「地元の『公民館』元気プロジェクト」を開始

～「地域コミュニティの持続的な発展」をテーマに公民館での活動を共同推進～

公益社団法人全国公民館連合会（東京都港区、会長 中西 彰、以下「全国公民館連合会」）とその賛助会員である明治安田生命保険相互会社（東京都千代田区、執行役社長 根岸 秋男、以下「明治安田生命」）は、このたび、全国に約 14,000 拠点ある公民館において、「地域コミュニティの持続的な発展」をテーマとした活動、「地元の『公民館』元気プロジェクト」を共同で推進することに合意し、2021 年度（2021 年 4 月）より活動を開始します。

本プロジェクトは、今後の公民館に求められる役割として所管省庁である文部科学省が掲げる「民間企業等や NPO とのネットワークの構築」（注 1）のよりいっそうの強化・推進を通じて、公民館における各種テーマに沿った活動の過程で、「社会教育」を基盤とした「人づくり」「つながりづくり」「地域づくり」の創造をめざすものです。

また、「ひとに健康を、まちに元気を。」を掲げる明治安田生命においては、「地元の元気プロジェクト」（注２）の一環として、地域に根差した本取組みを通じて「豊かな地域づくり」へ貢献することで、地域社会が抱えるさまざまな課題・ニーズに応えていくことをめざしています。

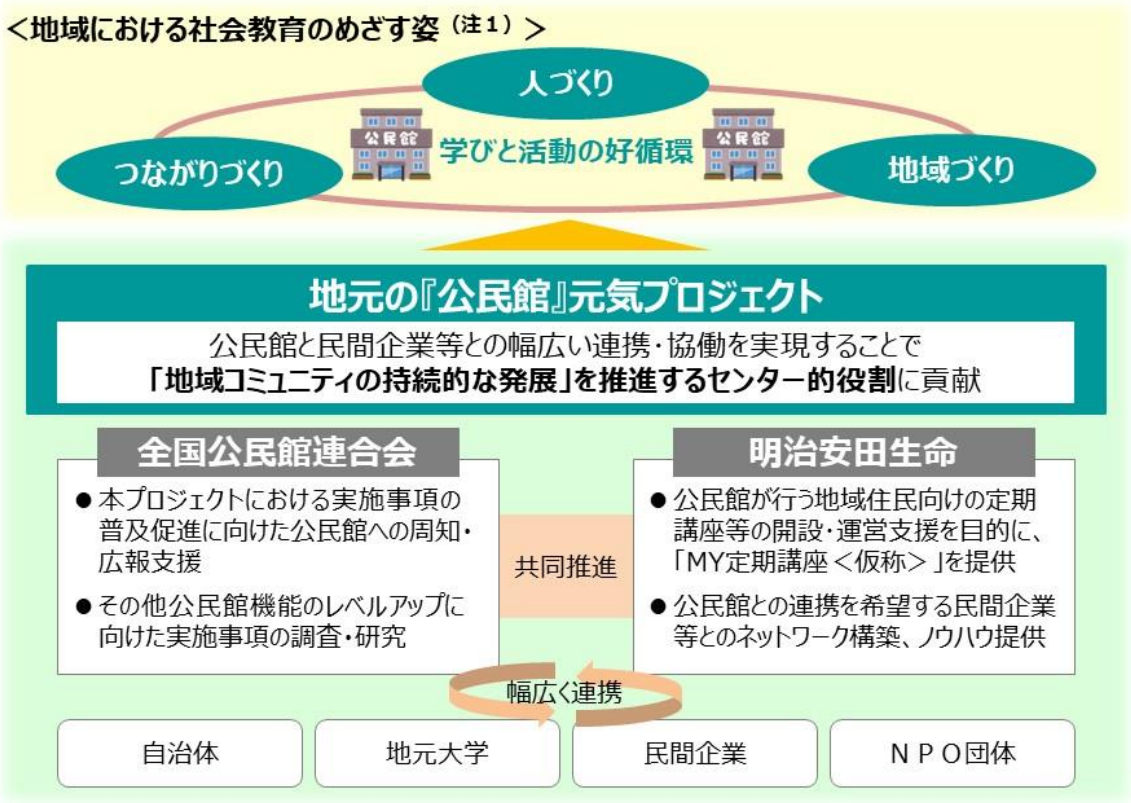
「地元の『公民館』元気プロジェクト」では、公民館との連携を希望する民間企業等とコンソーシアムを立ち上げ、全国公民館連合会の協力のもと、明治安田生命がプライマリーパートナーとして、公民館と民間企業等との幅広い連携･協働を実現してまいります。

具体的には、公民館が行う地域住民向けの定期講座、講習会等の開設･運営支援を目的に、民間企業のノウハウや健康分野の知見等を活かした「ＭＹ定期講座＜仮称＞」(※) を提供し、地域住民等の課題解決に向けた実践的教育プログラムの拡充を図ってまいります。

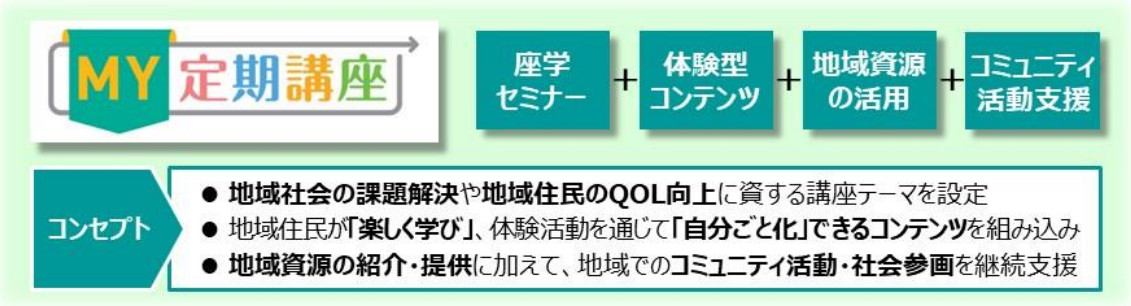
(※)「ＭＹ定期講座＜仮称＞」の全国展開にあたり、2020 年 11 月に高知県南国市で自治体･高知大学等の協力のもと、地域の高齢者を対象に認知症予防をテーマとして、同講座の試行を実施。公民館での活動を起点に地域住民の健康増進や行動変容に寄与できたことを確認するとともに、文部科学省を含む行政や大学等の関係者から高い評価をいただくことができました

今後は、他の民間企業等へも本プロジェクトへの参画を広く呼びかけ、公民館がこれまで以上に「地域コミュニティの持続的な発展」を推進するセンター的役割を発揮できるよう公民館とともに取り組んでまいります。

■「地元の『公民館』元気プロジェクト」の概要



■「ＭＹ定期講座＜仮称＞」および「試行実施（高知県南国市）」の概要



＜試行実施の概要＞

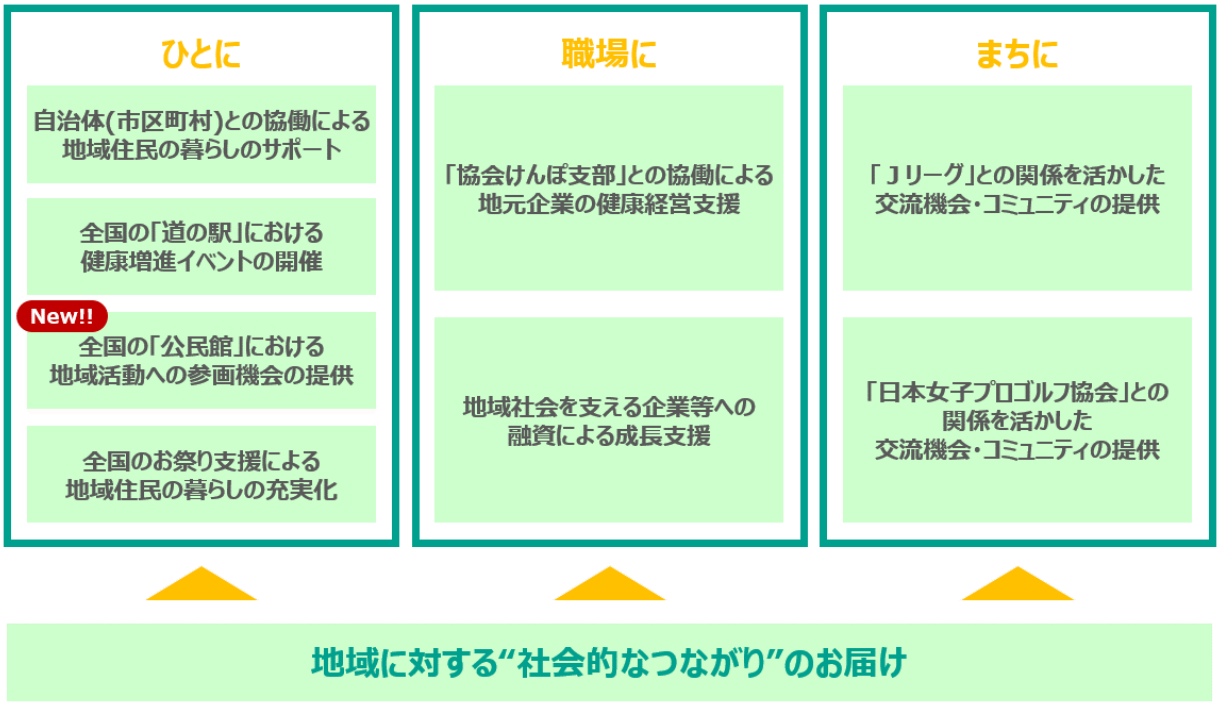
開催地域	高知県南国市（稲生公民館）
講座名	『年齢に負けない！令和時代のセカンドライフ～認知症編～』
内容	認知症の「理解」「予防」「備え」をテーマに、参加者が主体的に学習できる座学セミナーに加えて、認知機能チェックやデュアルタスク等の体験を実施

（注１）文部科学省ホームページ「令和元年度公民館に関する基礎資料」P383 ご参照
ＵＲＬ：https://www.nier.go.jp/jissen/book/r01/pdf/com_center_base_all.pdf

（注２）地方自治体、スポーツ団体、各地域の企業等と連携のうえ、「豊かな地域づくりへの貢献」と「地域のお客さまとの接点の拡がり」をめざす全社横断的な取組み
概要については、当社ホームページご参照
ＵＲＬ：https://www.meijiyasuda.co.jp/brand/ld/jimotonogenki/

（参考）「地元の元気プロジェクト」における具体的な取組みの概要

これまで以上に人と人とのつながりの希薄化が懸念されるなか、「地元の元気プロジェクト」では、「ひとに」、「職場に」、「まちに」という３つの観点から、さまざまな“社会的なつながり”を全国の各地域にお届けする取組みを行なってまいります。



以　上